

平成 24 年 1 月 12 日

平成 23 年度 山口大学 産学公連携・イノベーション推進機構
「イノベーションシーズ育成プログラム」研究成果 最終報告会

日時 平成 24 年 3 月 14 日（水）13:00～15:30

場所 産学公連携・イノベーション推進機構 3F セミナー室（常盤キャンパス）

参加対象者 学内教職員、学生等

当日のプログラム

13:00～13:05 開催挨拶

13:05～13:15 本助成プログラムの概要と支援実績紹介

13:15～15:25 研究成果発表

No.	日時	研究テーマ	発表者
①	13:15～ 13:40	コピー数多型 (CNV) キットを用いた精巣癌患者に対する個別化医療	大学院医学系研究科 坂野 滋
②	13:40～ 14:05	蛋白チップによるピロリ菌特異抗体プロファイリングと疾患予測検査方法の開発	大学院医学系研究科 赤田 純子
③	14:05～ 14:30	クラウンエーテルの運動性を利用した新規リチウムイオン二次電池用ポリマーゲル電解質の開発とイオン伝導性の向上に関する研究	大学院理工学研究科 山吹 一大
休憩 (5 分)			
④	14:35～ 15:00	長日性農作物の光害を阻止する屋外照明技術の開発	農学部生物資源環境科学科 山本 晴彦
⑤	15:00～ 15:25	マンガン酸化物のナノ構造制御から次世代キャパシタデバイスの応用展開	大学院理工学研究科 中山 雅晴

15:25～15:30 閉会挨拶

【補足】

「イノベーションシーズ育成プログラム」は、旧山口大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリーの研究助成制度「VBL 実用化研究（シーズ育成）助成プログラム」を産学公連携・イノベーション推進機構が承継・発展させ実施している学内研究助成プログラムです。学内教職員の研究シーズを育成・強化するため、イノベーション創出につながる萌芽的成果が得られることが期待される研究課題に対して助成しています。採択課題ごとに担当コーディネータを配置し、定期的な研究室訪問等により研究の進捗状況をきめ細かに把握し、特許化支援や展示会等を通じたシーズニーズのマッチング支援、競争的外部資金獲得に向けたサポート等を継続的に行うことにより、研究者と一丸となって研究シーズの育成・強化をはかることを特徴としています。この度の研究成果中最終報告会は学内関係者であればどなたでもご参加頂けますので、多数のご参加をお待ち申し上げます。なお、当日ご参加の皆様には、受付にて事前に秘密保持に関する誓約書に必ず署名して頂くことになりますことをご了承ください。

【参加申込・お問合わせ先】

産学公連携・イノベーション推進機構 イノベーション支援部門 イノベーション人材育成支援室
E-mail: career@yamaguchi-u.ac.jp 内線: 9983 (担当: 中村、浜本、李)